

第28回第三小学校地区合同防災訓練

災害時、避難先が無い

日時：10月3日（土）—小雨決行—

訓練会場：第三小学校と、地域3カ所のまちかど訓練会場

【まちかど防災訓練は 午前9時集合】

自治会関係者は3カ所の訓練会場に集合。

（地域の連携訓練 -共助-）

【第三小学校での全体防災訓練について】

第三小学校での訓練は午前10時30分から校庭で児童と住民が一体となり参加者全員で防災訓練実施
（南校舎火事—教職員と児童による消防訓練）

熊本地震・この町は大丈夫？
第三小学校地区の住民は、日頃から家庭で食料・水など備蓄品を準備。

避難所だけではなく、災害時における避難先（親戚・知人先）を準備しておきましょう。



地域の皆様へ

大災害時、「消防車は来ません。」その時、頼りになるのは地域とご近所さん。この防災訓練に参加し避難所場所を再確認しましょう。

- まちかど ①西光寺会場（上石原1丁目 住民）
- 訓練会場 ②上石原若宮八幡神社会場（上石原2丁目 住民）
- ※9時 ③第五中学会場（上石原3丁目・多摩川 住民）
- 全体訓練 第三小学校会場 ※10時30分より

【主催 第三小学校地区防災対策委員会】

調布市の避難所収容率はこんなに低いのか？

この地域では災害時には避難所が開設されます。しかし、現実には調布市民24万2千500人は受け入れられません。

調布市の防災計画では、住民全員を避難所に収容するのを想定せずに、原則「在宅避難」等を前提に計画をしています。

市内一次避難所の小中学校など32箇所の収容人数は、災害時に約11,700人(全市民4.8%)、水害時は約8,100人(全市民3.3%)と算出されています。

この収容人数は家を完全に失った人、今「命」の危険が迫っている人などを想定しています。

東京都全体の避難所収容率(全都民約20%)に比べて、調布市の避難所収容率が低い理由は、以下の3点に集約されます。

1. 人口急増に公共施設の面積が追いつかない。(物理的限界)
2. 感染症対策による一人あたりの面積の拡大。(収容人数減少)
3. 全員が避難所に収容できない。(分散・在宅避難が急務)

【主催 第三小学校地区防災対策委員会】